

小学校3年音楽科実践事例		大隅町立大隅北小学校 教諭 山田五輪子	
単元名	いい音えらんで	本時	4 / 12 あの雲のように（リコーダーの二重奏）
目標	二つの旋律の重なりや響き合いを感じながら、演奏することができる。 友達の表現の良いところに気づいて聴くことができる。		
	主な学習活動	指導上の留意点（カウンセリングの視点）	
導入 10分	1 前時の復習をする。 2 本時の学習問題の確認。 自由に相手を見つけて、 楽しくリコーダーの二重奏 をしよう。 3 相手の見つけ方や、ルール の確認をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動作を取り入れながら気持ちよく歌う。（自己開示しやすい雰囲気作り）</li> <li>・「リコーダーで、みんなと仲良くなる学習」であることを伝える。（ねらいと内容の説明）</li> <li>・何をするのか、何のためにするのか、どんな方法でするのか等を明確にする。</li> </ul>	
展開 25分	4 相手を変えながら、吹き合う。 ピアノの音が止まった所で、ペアを組む。 2人で話し合い、演奏するパートを決める。 お互いの響きを感じながら2重奏をする。 お互いに感想を述べ合う。 * ~ を何回か繰り返す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師自身が集団の中に入ってルール確認（ペアの見つけ方 相手への挨拶 パートの決め方 演奏 感想を述べ合う 挨拶をして別れる）をすることで1人1人が安心して行動できるようにする。（インストラクション）</li> <li>・パート決定は、苦手な子が優先できるようにする。</li> <li>・最初のペアでうまく二重奏が出来たかどうか様子の確認をしてから、エクササイズに入る。</li> <li>・自分の良かった点相手の良かった点など、自由に感想を述べあわせる。（2人組でのシェアリングを行うことで自己理解・他者理解を深める。）</li> <li>・時間のめどの確認をする。</li> </ul>	
終末 10分	5 学習のまとめと評価をする。 感じたり気づいたりしたことを発表する。 みんなの前で演奏する。 6 次時の確認をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2人組でのシェアリングを全体でのシェアリングに広げ、みんなの前でも演奏したいペアには発表の場を与え、本時のまとめをする。（満足感、肯定的な自己評価の育成）</li> </ul>	
実践の考察	初めて音楽を体育館で行ってみた。広い体育館を思いっきり使ってゲーム感覚でペアが選べること、お互いの音色を聴き合って感想を述べ合ったり、お互いの良い点を認め合った上で感謝の言葉を掛け合ったり、握手をして別れたりすることが子どもたちにはとても新鮮で楽しい授業となったようだ。リコーダー演奏の苦手な子がいたが、昼休み等に練習を繰り返し のパートだけは自信を持って演奏出来るようになっていたことを全体シェアリングの場で認め合うことができた。自分のリコーダーを演奏することだけに精一杯なのではないかと思っていたが、友達の演奏の速さに合わそうとしている様子や、相手が演奏につまずいても「もう1回最初からね。」と声を掛け合う姿がほほえましかった。ハーモニーの美しさや心地よさを実感できていたようだ。現在「葉っぱとそよ風」という曲の練習が始まったばかりであるが、「また体育館でやってね。」とせがまれている。		